

Home & Personal

家庭・パーソナル

127 デジタルメディア機器

132 家庭電化製品

新しいWoooは、一体型、きれい、楽しい、便利 フルモデルチェンジ「Wooo」8000シリーズ



左から、株式会社日立アドバンスデジタル横浜本部第一設計部の山田英実主任技師と、西中祐三技師、日立製作所コピキタプラットフォームグループデジタルメディア事業部映像マーケティング本部FPDセンタ商品企画グループの鈴木宏幸技師、同事業部開発センタ映像メディア開発部の山下智史技師

デジタル化の基盤整備が完了し、地上・BS(放送衛星)・110度CS(通信衛星)の全放送メディアでデジタル放送が実現したことから、ハイビジョン放送を見ることが普通になってきた。デジタルテレビ化率は当初の見込みを大きく上回り、2005年5月時点で、地上デジタルは約411万世帯(地上デジタル推進協会調査)、BSは約892万世帯(NHK調査)と加入率を伸ばしている。このような背景の中で、薄型テレビの需要も拡大している。日立製作所は、フラットパネルテレビのリーダーとしての実績や技術を生かし、これまでのプラズマ・液晶テレビをフルモデルチェンジして、最先端・高付加価値を持つ特別なテレビとして「Wooo(ウー)」8000シリーズを発売した。

Wooo8000シリーズの開発ポイントは

従来機種に比べていっそうの高輝度化を図り、業界最高のピーク輝度1,400 cd/m²(42V型)により、輝きある映像表現を可能にしました。また、AVC(Audio-Visual Control)ステーションを一体化したことも大きな特徴の一つです。Woooシリーズは、デジタル化が始まる時代にふさわしい高級感がある夢のテレビとして、AVCセパレート(チューナ分離型)構成になっていました。現在、薄型テレビは普及品へと変化し始めていますから、8000シリーズでは、省スペースで大きな画面を手軽に楽しめるように、高品質感を踏襲しながらAVC一体型の設計を実現しました。また、10個のスピーカを搭載している42V型は、スピーカが横に付いているタイプの中では業界最小サイズです。

AVC一体型とするために、細かな設計と技術を積み重ねていくという地道な努力が必要でした。分離していたものを中に入れるのですから、発熱量が増えます。熱はファンで冷却するのが一般的ですが、テレビに集中しているときや夜中などはファンの音が耳障りになるでしょう。ですから、熱量が増加してもファンを付けないことが理想的です。そして、プラズマH8000シリーズでは、ファンレスを実現しています。

構造設計で難しかったのは、大画面と省スペースを両立することです。テレビのディスプレイは前枠で支えられるとともに、デザインを引き立ててくれます。その前枠をなくしました。ガラス面そのものをデザインと考え、左右の支えには、強度と高級感を持つアルミニウムを採用することで課題をクリアしました。

新しく加わった特徴は

WoooHR8000シリーズは「ダブル デジタル チューナ」なので、デジタル放送を見ながら別のデジタル放送を録画する、いわゆる「裏録」ができます。しかも、ハイビジョンのままで録画することができます。

リモコンではユーザビリティを優先しました。デジタル放送に対応すると、どうしてもボタンの数が増えてしまいます。そのため、身体の不自由な方にも聞き取り調査をして、ボタンの大きさや間隔を設計し、リモコン本体の上半分でテレビ操作できるようにしました。従来のリモコンと同じような感覚で操作できますし、とても軽いです。さらに、HDDレコーダの機能を活用し、映像も音声もゆっくり再生することができます。通常のスPEEDでは聞き取りにくい、見にくいといった方にも楽しんでいただける機能を備えています。

アンケート調査で好評なのはリモートスイーベル機能です。これは、リモコンでテレビの画面を左右に動かすことができる機能です。実際に使ってみると、見たい方向に大きなテレビ画面を動かせることが、予想以上に便利でおもしろいと思われるのでしょ(笑い)。

また、日立グループは、これまでも環境に配慮した「テレビづくり」をしています。まず、原材料に含まれる化学物質(鉛、六価クロムなど)の代替や使用規制に取り組むとともに、リサイクルしやすく、資源の有効活用・再資源化ができる資源循環システムづくりを図っています。地球温暖化の原因となるCO₂の排出量を削減するために、いっそうの低消費電力化・長寿命化を進めています。

今後のネットワーク化されたテレビの展望は

テレビやビデオデッキなどをネットワーク化し、ばらばらなAV機器を使っているように感じさせないことを目指しています。ネットワーク化が進めば、テレビは最終的にディスプレイだけになるでしょう。要望さえあれば、冷蔵庫の中をテレビで見ることなどは、すでに技術的には可能です。このほか、AV機器の接続コードをなくすことや、HDDがいっぱいになっても高画質・高音質のままライブラリとして保存することなど、将来、実現したいことはたくさんあります。

世界初、温めて、押して、たたいて、もみ洗う、 節水ホットビート洗浄 第3世代洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」



日立ホーム&ライフソリューション株式会社電化事業部生産技術部試作開発グループの吉田哲士技師(左)、電化事業部営業部の福原賢二部長代理(右)、日立製作所機械研究所電化機器開発プロジェクトの小池敏文主任研究員(中)

洗濯乾燥機は、全自動洗濯機における販売構成比が25%を超え、容量7kg以上のタイプを中心に堅調に需要が伸びている。家事の省力化を図るための大型化だけでなく、節約(節水・省エネルギー)、清潔(除菌・すすぎ)、使いやすさなども期待されていることから、メーカー各社はさまざまなくふうをしている。日立グループは、洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」をさらに進化させて大容量化した「プレミアム」BW-DV9F(9kg)に加え、「スリム」BW-D8FV(8kg)、「BW-D7FV(7kg)をラインアップし、「ビートウォッシュワールド」として、商品展開を図っている。

「プレミアム」は、世界初の「節水ホットビート洗浄」を特徴としており、ドラム式をしのぐ節水性と洗浄力の向上を実現するとともに、ナノチタンによる消臭や花粉除去、さらに、浅底洗濯槽・ワイド投入口など、「使いやすさ」でも独自性を確立している。なお、第2回エコプロダクツ大賞優秀賞を受賞した。

新しいビートウォッシュの開発ポイントは

ドラム式と渦巻式の強みを兼ね備えたビート式洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」に、さらに高性能で使いやすとした「プレミアム」BW-DV9F」と、狭いスペースに置ける「スリム」BW-D8FV」と、「BW-D7FV」をラインアップしました。「プレミアム」は9kg、「スリム」には8kgと7kgがあり、将来を先取りした大容量となっています。

新しいビートウォッシュは、世界初の「ホットビート洗浄」で洗浄します。温水にすると洗浄力が高まるので、これまでも温水を利用した洗濯機はありましたが、そのために大量の水を温めていたわけです。しかし、「ホットビート洗浄」では衣類を温めます。まず、循環ポンプによって高濃度洗剤液を繰り返し洗濯物に振りかけた後、温風を吹きかけて、洗剤の酵素パワーがもっとも活性化する30～35℃に温めて汚れを浮かせてから、循環水流で節水洗浄します。「プレミアム」の場合、9年前の「NW-8S2」に比べ約7割、1回の洗濯で2Lのペットボトル約100本分の節水ができます。同様に「スリム」では、ビートウイングの裏羽根で少ない水をかき上げ、上下4方向のシャワーで循環させる洗浄方式によって、9年前の約4割の節水を可能にしました。

「プレミアム」では、モータと制御方法も新しくしました。衣類に水の浮力が掛からない洗浄方式を採用しているため、衣類の量・種類だけでなく、衣類の上下の動かし方によっても、モータに掛かる負荷が随時変動します。それに対応した制御方法にしなければならぬため、技術的には難しいものでした。基本動作ができるまでにかなりの時間を要しましたが、事業部と研究所が一丸となって、製品化することができました。

ナノチタン消臭・花粉除去とは

衣類のニオイを消すために、ナノチタンを触媒とする消臭乾

燥フィルタを採用しました。従来の触媒の直径は1μmでしたので、小さなニオイの分子はすり抜けてしまいました。しかし、ナノチタンの平均粒径は5nmなので、これまで取りきれなかったニオイの分子までキャッチします。例えば、たばこのニオイの付いたウール衣類の場合、部屋干しよりも35倍速く消臭できます。また、ニオイと同様に、花粉に困っている人も少なくありません。そのため、冷却水で花粉を洗い流す仕組みを考えました。花粉は、水が付着すると破裂して人体に反応しなくなるからです。この機能だけを活用して、花粉対策に役立てることもできますよ。

「黄色いハンカチ大作戦」とは

槽内にハンカチを落としてみて、拾いやすければ「取り出しやすい」ということですね。今回、店頭でのビートウォッシュには「黄色いハンカチ」を添えています。使いやすさを多くの人に実感してもらうこと、それが「黄色いハンカチ大作戦」です。ビートウォッシュは、洗濯槽の底が浅く、投入口も広いんです。特にプレミアムは、目いっぱい浅く、広くしましたから、腰をかかめなくてもラクな姿勢で洗濯物を出し入れできます。もちろん、ダブルの毛布もすっぽり入ります。さらに、ビート洗浄は洗濯物をからませることがないので、取り出すのが楽です。このことは、購入後のアンケート調査でも大きな評価を得ています。

今後の展望は

「衣類がたたまれて出てくる洗濯乾燥機があったら便利なの」という冗談が、未来では実現するかもしれません。わたしたちは、「満足しては進歩がない」ということを、いつも念頭に置いています。まずは基本性能を高め、乾燥時間を短縮することなどから、手洗いに近い洗浄力を持つ「頭のいい」洗濯乾燥機を目指していきたいと思っています。

デジタルメディア機器

地上デジタル放送の全国展開に伴い、ハイビジョン放送を大画面で楽しむ人が増えてきている。日立製作所は、デジタル家電のコア技術を生かし、高画質ハイビジョン フラット パネル テレビ Wooo[®]をはじめ、液晶プロジェクタ、地上デジタル対応HDD/DVDレコーダなどのハイビジョン対応機器を中心に「Woooワールド」を展開し、映像を重視したデジタルメディア機器の分野をリードしている。

新ALISパネル・新IPSパネル搭載のハイビジョンプラズマ 液晶テレビ 全11機種の新世代Wooo8000シリーズ

放送のデジタル化、ハイビジョン化、また、Blu-RayやHD-DVDなどパッケージコンテンツもハイビジョン化が進展してくるインフラストラクチャー変革の追い風の中にあって、FPD(Flat Panel Display)テレビの需要は右肩上がりである。26型以上のリビング ルーム サイズで2005年度にはPDPで約500万台、LCD(Liquid Crystal Panel)で約680万台と、2004年度比約2倍に当たる大きな伸びが見込まれている。日立製作所は、ハイビジョン映像技術はもとより、PDP(Plasma Display Panel)もLCDもコアデバイス事業として自社に持ち、デジタル映像時代に向けて、事業拡大のシナリオを整えてきた。PDPにおいては2005年には富士通日立プラズマディスプレイ株式会社の連結子会社化、LCDにおいては4社合併による株式会社IPSアルファテクノロジーの設立など、戦略的な投資を積極的に進め、特にパネル技術に関しては、独自の画質で優位な方式を活用し、「映像にこだわる」をキャッチフレーズとした画質重視の商品群のコア技術となっている。

総務省発表(2005年4月)によると、国内の地上デジタル放送の受信可能世帯数が2,980万世帯(約62%)に拡大しており、当初計画より先速い進捗(ちやく)で本格的なデジタルハイビジョン

の時代を迎えたと言える。このような環境の下で、日立製作所は、いっそうの高画質化を図りながら、デジタルチューナを内蔵し一体化したFPDテレビ Wooo(ウー)の新シリーズを発売した。

このシリーズでは、新開発の業界最高レベルのピーク輝度(1,400 cd/m²)、業界最高解像度(42/37型105万画素)を持つALIS方式のPDP搭載により、ハイビジョン映像などを高画質でリアルに表現し、輝きある映像を楽しむことができる42V型・37V型および55V型(e-ALIS方式)のハイビジョン プラズマテレビ6機種と、視野角で他方式に対して優位なIPS方式液晶パネルを搭載した37V型・32V型・26V型ハイビジョン液晶テレビ5機種をラインアップした。そのうち5機種は、160 GバイトのHDDレコーダ機能を搭載するとともにダブルチューナ(地上アナログおよび地上・BS(放送衛星)・110度CS(通信衛星)デジタルハイビジョンチューナ2個)を採用した。さらに、省電力化、リデュース・リユース・リサイクルなど環境への配慮を徹底した設計に取り組み、パネルからテレビセットまで一貫した環境対応設計に取り組んでいる。

(発売時期:2005年8月)

ハイビジョンプラズマテレビWooo

メガピクセル
ALISパネル

ハイビジョンレコーダ内蔵
プラズマで ●REC



ハイビジョン液晶テレビWooo

In Plane
Switching

ハイビジョンレコーダ内蔵
液晶で ●REC



注: 略語説明 ALIS(Alternating Lighting of Surfaces)



ハイビジョンHDD/DVDレコーダ

地上・BS(放送衛星)・110度CS(通信衛星)デジタルチューナ2系統(6機能)、地上アナログチューナ1系統(1機能)の計7チューナ機能を搭載し、世界で初めて*1ハイビジョン番組の2番組同時録画ができるハイビジョンHDD/DVDレコーダ Wooo シリーズを発売した。

デジタル放送のハイビジョン高画質映像と多チャンネル化に対応するため、ハイビジョンを含むどのデジタル放送でも同時に二つの番組が録画できる「デジデジ2コ録(どり)」を搭載した。“DV-DH1000W”では、株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズ製の500 GバイトのHDDを2台内蔵することによって1 Tバイト(1,000 Gバイト)の世界最大容量*1を実現し、ハイビジョン映像を約128時間*2録画することができる。番組名やジャンル、チャンネルなどさまざまなキーワードを基に録画番組を自動的に整理、分類表示する「ワケ録」機能を搭載し、多数の録画番組から目的の番組をすばやく探し出すことができる。

〔主な特徴〕

- (1) 2番組同時録画「デジデジ2コ録り」搭載
 - (2) 世界最大容量1 Tバイト搭載(DV-DH1000W)
 - (3) 快適に検索ができる「ワケ録」搭載
 - (4) 機能を見つけやすい「おしえてボタン」搭載
 - (5) 高画質・高音質を実現するHDMI(High-Definition Multimedia Interface)端子搭載(DV-DH1000W/DH500W/DH160W)
- (発売時期:DV-DH500W/DH250W/DH160Wは2005年9月、DV-DH1000Wは2005年10月)

*1 民生用のハイビジョン録画対応DVDレコーダとして、2005年8月時点
 *2 地上デジタルハイビジョン放送を記録した場合



ハイビジョンHDD/DVDレコーダ Wooo のラインアップ



デュアルアイリスによるハイコントラストを実現する ホームシアター プロジェクタ PJ-TX200 ”

ハイビジョン対応液晶プロジェクタ PJ-TX200 を発売した。オートアイリス、マニュアルアイリスから成るデュアルアイリスを使ったコントラストの大幅な改善が最大の特徴である。アイリス（光量を調節する絞り）を開閉することにより、映像の明暗を調整できる。入力映像の明暗を強調するように自動的に調整

するオートアイリスと、好みの明るさに設定できるマニュアルアイリスを組み合わせることにより、最大7,000:1の高コントラスト設定を可能とした。また、スーパーフォーカスレンズや10ビット信号処理回路などを採用し、きめ細かな映像表現を実現した。（発売時期：2005年10月）



ホームシアター プロジェクタ PJ-TX200 ”



DVD ビデオカメラ

DVDビデオカメラ Wooo シリーズとして、2000年モデル比で約 $\frac{1}{3}$ の小型サイズを実現した“DZ-MV780”，総画素数212万画素CCD（Charge Coupled Device）と高画質画像処理LSI「Picture Master for DVDカム」によって高画質記録を実現した“DZ-GX20”，DVD-RAM/-Rの記録に加え、DVD-RWの記録にも対応したDVDマルチドライブを世界で初めて（2005年7月時点）搭載した“DZ-GX25M”を発売した。

〔主な特徴〕

- （1）DVDマルチドライブ搭載（DZ-GX25M）
 - （2）総画素数212万画素CCD搭載（DZ-GX25M/GX20）
 - （3）高画質画像処理LSI「Picture Master for DVDカム」搭載
 - （4）カラーバリエーション展開（DZ-MV780）
- （発売時期：DZ-GX20/MV780は2005年2月，DZ-GX25Mは2005年8月）



DZ-GX25M



DZ-GX20



DZ-MV780

DVDカム Wooo のラインアップ



ホームサーバPC Prius Deck“ DH75N ”, “ DH73N ”

最新性能をコンパクトなボディに収容したホームサーバPC “ DH75N ”と “ DH73N ”を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) デュアルコアCPU(Central Processing Unit)による高性能
- (2) 本体幅59 mm ,従来比53%のスリム化
- (3) 35 dB以下の静音性
- (4) DVD・メモリ カード スロットをモニタ側に装備し,本体配置の自由度を向上
- (5) HDMI 端子の装備により,劣化のないデジタル伝送による美しい映像再現が可能

今後,地上デジタル放送への対応を進めていく。
(発売時期:2005年10月)



ホームサーバPC Prius Deckのラインアップ



地上デジタル対応PC Prius Air“ AR37N ”

地上デジタル放送の視聴・録画に対応したテレビPC“ AR37N ”を発売した。



地上デジタル放送対応PC Prius Air“ AR37N ”

〔主な特徴〕

- (1) 独自のLSI“ BroadGear ”を搭載し,安定したハイビジョン映像を受信
- (2) 上下左右170度の高視野角により,斜めから見ても美しいS-IPS(Super In-Plane Switching)方式の17型液晶ディスプレイ
- (3) 「ピクチャーエンハンス機能」により,高画質映像を一段と美しく楽しめる。
- (4) 業界標準規格のD端子を搭載し,大画面テレビでハイビジョン映像を視聴できる。

今後,大画面ディスプレイを搭載した機種を開発する予定である。

(発売時期:2005年10月)



映像が美しいグラストップ デザインのPrius Note PC

スタイリッシュな薄型ボディに,充実したテレビ機能を搭載したパーソナル テレビ モデルPCを開発した。

- (1) 液晶パネルとフレームの一体感を重視したシンプルなグラストップ デザインを採用
- (2) テレビチューナを内蔵し,ハードウェアエンコーダでの安定した録画を実現
- (3) 高輝度,高視野角,低反射な液晶を採用し,明るく鮮やかな映像を実現
- (4) 「カラーエンハンス機能」により,液晶テレビに近づけた色バランスを実現

今後,デジタル テレビ チューナ内蔵を検討する予定である。

(発売時期:2005年9月)



スタイリッシュで充実した機能満載のパーソナル テレビ モデルPC Prius Note“ PN37NT ”



au新サービス「EZ FeliCa」対応の買ってすぐ音楽が楽しめる「MUSICケータイW32H」

auの新サービスである「EZ FeliCa^{*}」に対応した携帯電話「MUSICケータイW32H」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) SD(Super Density Disc)Audio対応ミュージックプレイヤー、音楽CD(Compact Disc)の曲をminiSD^{*}メモ리카ードに録音するためのソフトウェア、マイク付きリモコンなどを「MUSIC START KIT」として同梱(こん)
- (2) 「EZ FeliCa」に対応し、電子マネー「Edy^{*}」のEZアプリケーションをプリセットした。購入後すぐに電子マネーとして利用が可能
- (3) PC向けウェブサイトが閲覧できるPCサイトビューアー、メールに添付されたファイルを表示できるPCドキュメントビューアーを

搭載

(発売時期:2005年9月)

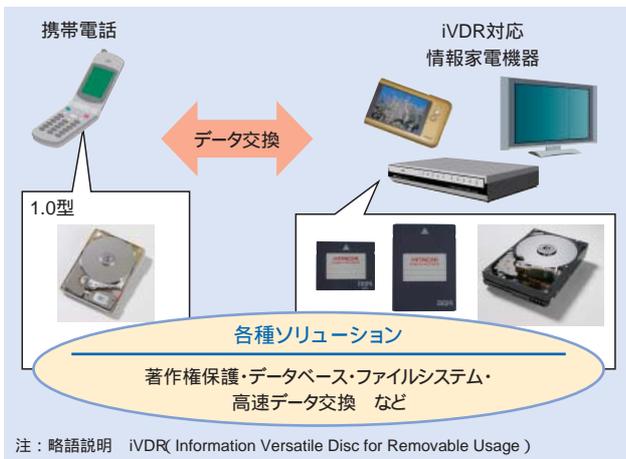
^{*}は 他社登録商標など(163ページを参照)



「EZ FeliCa」対応「MUSICケータイW32H」



ユビキタスHDDファミリー



情報家電機器に広く使われることが見込まれているリムーバブルHDD(iVDR)に加え、1.0型マイクロドライブ^{3K8}がその大容量化と相まって注目されている。従来比で大幅に小型化・省電力化・耐衝撃性能を向上させることで、音楽・映像プレイヤーはもとより、携帯電話への本格搭載が期待される。

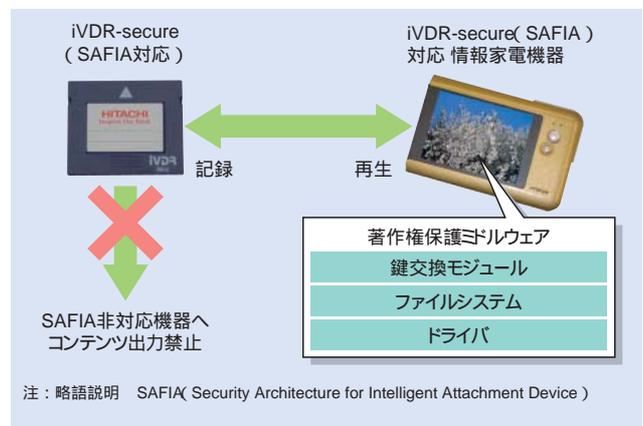
日立製作所は、各種機器に対応した1.0型から3.5型のHDDのラインアップを図るとともに、携帯電話や情報家電機器などの多様化するアプリケーションや、相互のデータ交換に対応したソリューションを充実させていく。



リムーバブルHDD(iVDR-secure)用著作権保護ソフトウェア

情報家電機器に広く使われることが見込まれているリムーバブルHDD(iVDR-secure)の著作権保護方式「SAFIA」が2005年4月に発表された。iVDR-secureに記録された映像・音楽コンテンツが、不正コピーや不正利用されることを防止する。

iVDR-secure搭載機器の普及を加速するために、SAFIA対応のiVDR-secure用著作権保護ソフトウェアを開発した。今後はコンテンツ配信用規格など、SAFIAへ追加計画の中の新規格に随時対応していく。



iVDR-secure用著作権保護ソフトウェアの構成

家庭電化製品

近年、わが国では、買い替え需要主体の白物家電ブームが到来し、付加価値の高い高額家電品が伸張するとともに、普及品への志向も目立つという二極分化が進展している。このような中で、生活者視点によるわかりやすい訴求ポイント、「ずっと使うから日立」を事業メッセージとして制定し、「エコ」、「ラクラク」を「ナノテク」で実現するというコンセプトで「ダントツ商品」を開発している。また、一貫したメッセージの発信により、効果的なデビュー戦略を展開し、「日立らしい」快適家電の商品提供とブランド構築を目指している。国内で開発したこれらの商品群のグローバル展開、さらに、「オール電化」を踏まえた新商品群の提供を積極的に進めている。

大容量で整理性のよい冷凍室を実現した冷蔵庫「冷凍鮮科」

冷凍室の収納力不足や整理性の不満に対応して、冷凍室の大容量化と内蔵3段ケースを採用した「冷凍鮮科」を発売した。



ツインドアタイプの冷蔵庫「冷凍鮮科」

〔主な特徴〕

- (1) ドアの開閉頻度の多い冷凍室を中段に配置し、独自の真空断熱を採用して冷凍室を大容量化した。
 - (2) 冷凍室内を大中小の3段分割ケースとし、整理性の指標である底面積を従来の2倍に拡大することによって冷凍室の使い勝手向上を図った。
 - (3) 業界初の「冷凍やけ」を防止する「ナノ乾燥防止シート」の採用により、ホームフリージングした肉類などの保存中の乾燥を防ぐことを可能とした。
 - (4) 自動製氷機能で、「特大の氷」を新たに設定した。従来の約1.6倍の氷ができるとともに、製氷皿を2枚採用して4種類の大きさを選べるようにした。
 - (5) 商品開発では、株式会社ニチレイフーズと「冷凍品質プロジェクト」でニーズ調査・分析を実施し、提携開発した製品である。
- (日立ホーム&ライフソリューション株式会社)
(発売時期:2005年11月)

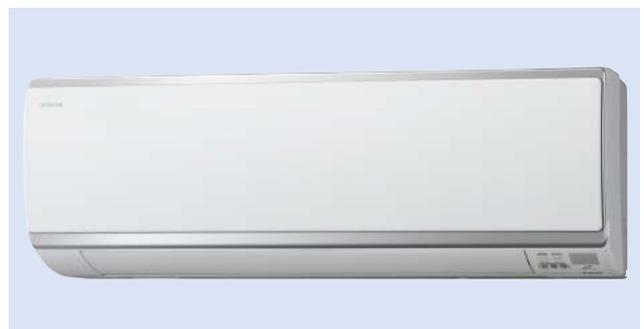
パワーの持続力を追求した ルームエアコン「白くまくん ずっとパワー」

エアコン本来の基本性能を向上させ、清潔性を高めたルームエアコンを発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 広いリビングルームでも湿度約40%を維持できる「カラッと除湿」でダニ・カビ抑制
- (2) 湿度を下げて冷えすぎない健康冷房「涼快」に、好みで選べる3モードを新たに搭載
- (3) IQ-PAM(Pulse Amplitude Modulation)を採用し、省エネルギー性と、足元を30℃に暖める暖房力を実現した。
- (4) 給気運転と電気集じん方式の「ナノ&プラズマ空清」により花粉を99%除去、業界初の「花粉モード」を採用
- (5) センサで空気を見張り、花粉・かび・空気の汚れを自動で抑制する「アレルオフみはり」機能

- (6) 油を含んだ埃汚れも拭き取りで簡単に掃除できる全面除菌「ナノステンレスフィルタ」を新採用
- (日立ホーム&ライフソリューション株式会社)
(発売時期:2005年12月)



パワーの持続力を追求したルームエアコン「白くまくん ずっとパワー」



洗浄力と使いやすさを両立させ、同時に大幅な節水も実現した洗濯乾燥機「ビートウォッシュ プレミアム」

「節水ホットビート洗浄」で洗浄力・節水性・使いやすさを向上させた、洗濯乾燥機「ビートウォッシュ プレミアム」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 衣類を温め、押して、たたいて、もみ洗う「節水ホットビート洗浄」で、布傷みを抑えながら優れた洗浄力を実現
- (2) ポンプで洗剤液を循環させて洗うことにより、従来比で70%節水^{*1}
- (3) 洗濯槽が浅く、投入口が広いので、大物衣類もひざを曲げずに楽な姿勢で取り出すことが可能
- (4) ナノチタン消臭乾燥フィルタにより、衣類に付いたたばこの

においも消臭

(日立ホーム&ライフソリューション株式会社)

(発売時期:2005年8月)

*1 洗濯9kg時(標準コース),1996年モデル¹ NW-8S2²比



洗濯乾燥機「ビートウォッシュ プレミアム」BW-DV9F¹



どんな金属鍋でも大火力で使えるオールメタル対応IHクッキングヒータ

大火力でオールメタル対応「サイレントケムレス」IH(誘導加熱)クッキングヒータを発売した。



75cmワイドトッププレートタイプIHクッキングヒータ HTB-A9WS¹

〔主な特徴〕

- (1) アルミ・銅鍋で業界ナンバーワン^{*1}の2.5kW大火力を実現
 - (2) 業界ナンバーワン^{*2}のワイドアンドビッグケムレス水なしグリル搭載。しかも2005年度グッドデザイン受賞のシンプルデザイン
 - (3) アルミ加熱時44dB,鉄鍋加熱時35dBの低騒音
- (日立ホーム&ライフソリューション株式会社)
(発売時期:2005年10月)

*1 アルミ・銅鍋加熱時,2005年9月現在

*2 2005年9月現在



強力パワーと高い操作性,清潔・衛生排気を実現した掃除機「たつまきサイクロン」と「パワースター」

独自の「パワフルスタミナ構造」により,強力パワーの持続性を向上させるとともに,使い勝手,清潔・衛生機能を強化した掃除機「たつまきサイクロン」と,紙パック方式の「パワースター」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 高性能モータと「パワフルスタミナ構造」により,サイクロン,紙パックそれぞれの方式で,業界最高^{*}の吸込仕事率と高い持続力を実現
- (2) 手もとでパイプの長さが簡単に調節できる「サッとズームパイプ」など独自の便利機能を搭載
- (3) ナノテクノロジー採用の「ナノチタン・アレルオフ除菌消臭

システム」で清潔・衛生排気を実現

(日立ホーム&ライフソリューション株式会社)

(発売時期:CV-SJ10は2005年7月, CV-PJ10は2005年9月)

*2005年9月現在,一般家庭用床移動型掃除機



「たつまきサイクロン」CV-SJ10(左),「パワースター」CV-PJ10(右)